課題解決を助けるロボット



アイデア概要

SDGsのゴール

【17番:パートナーシップで目標を達成しよう】に対して、

【人とロボットの各々の長所を活かし、コミュニケーションを円滑化する】アイデアで、 【曖昧な議論に時間を無駄遣いしてしまう】という課題を解決したい。

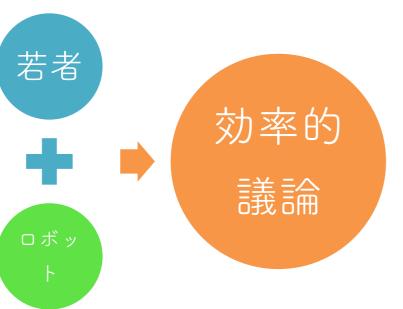
問題背景:曖昧な議論からの脱却

近年教育現場で「課題解決型授業」が注目され、学生による取り組みが盛んになっています。 私達WAKAZOもその一員です。私は中学の頃クエストという授業で世界の健康問題について 考え、そこで「課題を正確に、ロジカルに捉えること」の重要さを学びました。しかし、課題が曖昧 なままで議論を進めてしまうことが多いのが現状です。そうして生まれた解決策は課題の当事者 を放置した、一方的なものになってしまいます。この問題を解決し、課題解決に取り組む若者が より効果的なアイデアを出せるようにしたいと考えました。

解決策

私たちは議論における「ロボット」の活用を考えました。ロボットは創造的な営みは苦手ですが、 データを集めてそれを提示する「データベース」としては人より優れています。

SDGsの貢献が目標の1つである2025年万博において、若者とロボットが長短を補い合いながら 課題解決に取り組む未来を目指します。



「若者の課題解決を助けるロボホン」育成プロジェクト

シャープ株式会社、株式会社ゲンの協力のもと「若者の課題解決を助けるロボホン」の開発 を行っています。2025年大阪・関西万博までに、ロボホンが課題解決に取り組む若者たちと 対話することを通して成長していくストーリーを描きます。





© SHARP CORPORATION

成長ストーリー

2020初期

「SDGsって何?」など簡単な質問に答えてくれる。

SDGsについて学び始めるロボホン

わからない時は「次までに勉強してくるね」。

課題解決の相談に乗ってくれるロボホン

若者たちが分からないこと、よく聞いてくること、など がデータとして蓄積され、オススメのデータや情報を 渡してくれる。

2025

「どのような取り組みが良い取り組みか」を判 断し、ワカゾウに混ざって一緒に議論してくれ

ロボホンは、人と人、

増やしてくれる

人とロボットの会話を

若者と一緒に議論するロボホン

僕はSDGs博士を 目指しているんだ!

3つの特徴

ロボホンとワカゾウによる SDGs課題解決Co-Creation が促進される



SUSTAINABLE GOALS



話せば話すほど、 ロボホンもワカゾウも、 知識が増える

ワカゾウがSDGs アクションを起こせば 起こすほど、ロボホンは

2020年初期ロボホン ~人とロボホンの学び合い~

ロボホン、SDGsの2番に ついて教えて。 ごういう解決策があると思うよ。

来場者

2番は「飢餓をゼロに」だね。 こういう問題が深刻で、こんな 取り組みをしている若者がいるよ

今度は僕に教えて欲しいな! 君が思う解決策を教えて。



RoBoHoN